

事業番号	15 02 04	事業改善シート（令和2年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
		実施期間	H30～	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 平成31年度「4・5月教職員の勤務時間等の調査」では、教員一人当たりの1か月平均時間外勤務時間は57時間37分と、年々縮減傾向にはあるものの、長時間勤務の実態が続いている。本来業務のほかに諸事務、部活動、授業補助等の多量の業務が長時間勤務の一因となっている。今後、学習指導要領の改訂に伴う授業改善や複雑化した課題への対応等、教員が本来業務に注力できるための人的支援が必要。
	【目指す姿】 授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフ(SSS)を学校に配置し、教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を作る。
	【実施内容】 授業補助、印刷業務、採点業務等を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを一定規模以上の学校に配置。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度
1	SSS配置前後の教員一人当たりにおける1か月の平均時間外勤務の増減割合(配置校)	△6.7%	△13.1%	↑ 国調査なし	△10.0%	—		現計予算	87,458	236,184
2								合計(A)	87,458	236,184
3								うち一般財源	58,394	73,660
4								決算額(B)	87,458	204,096
								職員数(人)	2	2

成果指標設定理由	新型コロナウイルス感染症対応のため業務が例年以上に増加するため目標値を変更。新型コロナウイルス感染症対応をする中においても、スクール・サポート・スタッフの配置により教員の負担が抑制される効果を確認できる指標を再設定。
----------	--

達成状況の分析	令和2年度はコロナ禍で文科省調査が行われなかったため、例年同様の数値を示すことができないが、長野県が12月に独自に実施した調査では、スクール・サポート・スタッフ配置校における1人あたりの時間外勤務時間が R1 49:01 → R2 47:16となり、1:45(3.6%)の縮減が図られた。また、配置校へのアンケートでは、スクール・サポート・スタッフ配置に対する評価で「大いに役立った」91.1%、「役に立った」8.1%と高い評価を得ている。スクール・サポート・スタッフを活用した業務改善報告書からも、継続を希望する声が多かった。特に令和2年度はコロナ禍で消毒作業等、教職員の負担軽減につながったという声が多かった。
---------	---

主な取組	<p>✓ スクール・サポート・スタッフ配置事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級数が概ね13以上の小・中・義務教育学校149校に配置。年度途中から国の補正予算を活用し、配置希望のあった6学級以上の小中義務教育学校234校、5学級以下の31校に配置。 ・教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制が構築された。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>【配置校の声】</p> <p>組織の一員としてSSSが無くてはならない存在となっている。SSS自身が、以前よりも業務に見通しがもてるようになり、単位時間内で行うことができる業務量が増えており、職員の業務軽減につながっている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>【スクール・サポート・スタッフの声】</p> <p>「業務依頼シート」の活用により、作業内容が分かりやすく、普段は授業でなかなか会えない先生との連絡手段として有効。消毒作業時には「ありがとうございます」と挨拶をしてくれる児童がいて、心が温まる。子供たちの元気な声を聞くと、こちらも元気をもらえる。</p> </div> </div>

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	課題等	今後の方向性
	一定規模以上の学校にスクール・サポート・スタッフを配置しているが、新型コロナウイルス感染症対応で増加した消毒作業等については、学校規模の大小に関わらず支援が必要。	スクール・サポート・スタッフの配置校を拡充し、引続き業務改善に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対応により増加する教員負担の軽減を図る。

事業番号 15 02 04 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
-----	---------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	87,458 千円	204,096 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	直接	・通常学級数が概ね13以上の小・中・義務教育学校149校に配置。年度途中から国の補正予算を活用し、配置希望のあった6学級以上の小中義務教育学校234校、5学級以下の31校に配置。